

令和2年度 事業計画書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人有明海ぐるりんネット

今年度の目標

森と川の資源と魅力を東よか干潟ビジターセンターへ結ぶ活動
(SDGs 該当目標 (14, 15) 森～川～海を結ぶ自然学習及び人的交流)

これまでと同様に有明海沿岸域の自然・文化・産業・観光等のテーマについてその分野の専門家から話を聞く学習会や交流会を開催し、有明海沿岸域に関する情報を収集分析し、会員のみならず、行政、市民団体との交流の輪を広げていきます。

有明海3干潟がラムサール登録されたこと、「森と川と海をつなぐ」をキャッチフレーズに佐賀県が立ち上げた森川海っ人プロジェクトの活動により、市民が有明海に関心を寄せることが期待されると同時に、今年度10月に東よか干潟ビジターセンター「ひがさす」が開設されることにより、市民団体の活動拠点が確保され、ぐるりんネットが目的としている「次世代に有明海の魅力と価値を継承する」ことが出来ると確信しています。

①有明海の魅力を探り、広報する活動

※定例会及び出張交流会

定例会 : 隔月1回(奇数月第2木曜日)基調講話と討議

出張例会: 佐賀県吉野ヶ里町小水力発電見学交流、佐賀市富士町「さが古湯キャンプ」宿泊

②有明海の新たな魅力創生に寄与する活動

※イベント出展: さが環境フェスティバル参加 有明海環境展示及び有明海ミニ検定実施
森林公園自然池 池干しに参加

※ビジターセンターの開所に向けた取り組み: 設立記念シンポジウム: 「有明海の二枚貝」

有明海の貴重な水産資源であるタイラギ・海茸・アゲマキ・牡蠣・サルボウ等の二枚貝の現状を分析するとともに、復活の可能性を探ります。

※カキ礁復元の取り組み事業

有明海の環境悪化の象徴的な事象である「貧酸素水塊の増加」と「底質悪化」を改善する施策として「二枚貝の復活・増加」が有効であることは、科学的に証明されています。

今年度は、NPO法人嘉瀬川交流軸とNPO法人有明海ぐるりんネットの共催で有明海の水環境改善に有効な牡蠣礁復活を目指して、中流域で厄介者となっている竹を切って有明海干潟に立て込む 「カキ礁復元用の竹切り出し作業」「有明海カキ礁復元竹立て作業」を行います。

③情報発信

※公式サイト充実

※公式サイトを有効に使ったミニ小冊子等制作検討

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動にかかる事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益者対象の範囲及び人数	支出額 (千円)
①有明海に関連した環境教育及び生涯教育に関する事業	有明海ぐるりんネット 通常定例会	原則として隔月1回 (第2木曜)	MIZ・P-CSR 研究所 佐賀市民 活動プラザ	3	会員 20 県内・県外	60
	出張定例会 (1回予定)	10月予定	佐賀県 吉野ヶ里町	5	県内・県外 (関係者) 20	
②有明海沿岸域の地域連携及び地域づくりに関連する事業	さが環境フェスティバル 出展参加	11月7日 ～8日	佐賀県立 森林公園	5	国内外 (不特定)	50
	森林公園池干し作業			10		
	ビジターセンター 設立記念シンポジウム	12月予定	東よか干潟 ビジター センター	15	国内外 (不特定)	20
	カキ礁復元 竹切り出し作業 嘉瀬川交流軸 ぐるりんネット共催	6月7日	佐賀市 水ものがたり館周辺	15	県内、県外 (不特定)	10
	カキ礁復元 竹立て作業 嘉瀬川交流軸 ぐるりんネット共催	8月1日	佐賀県 有明海 海域	15	県内、県外 (不特定)	50
	佐賀県吉野ヶ里 小主力発電見学会と 佐賀市富士町宿泊 出張交流会	10月予定	佐賀県 福岡県	30	会員 県内、県外 (関係者)	60
③有明海及び有明海沿岸域の生活、文化、観光等の向上、振興に関する事業	公式サイト有効活用 英語版小冊子制作	4月～	佐賀県 福岡県	5	国内外 (不特定)	20
	公式サイト更新作業	4月～		3		50